

平成30（2018）年度

東京大学大学院理学系研究科修士課程学生募集要項

[一般選抜]

東京大学大学院理学系研究科

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

TEL 03-5841-4023

目 次

学生募集要項 1

指導教員専攻分野一覧 11

巻末：専攻別合格者数

 コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法

 提出書類確認一覧表

平成30（2018）年度

東京大学大学院理学系研究科修士課程学生募集要項

教育研究上の目的

理学教育研究の目的は、自然界の真理の根本的理解に向けて、知を創造し、発展させ、それを継承することである。

本研究科は、学究の徒に対して理学の理念と方法論を教授することで、高度な専門力、広範な俯瞰力、高い問題解決能力・発信力・国際性を兼ね備えた独創性豊かな人材を養成する。

※詳細は下記を参照

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/overview/graduate01.html>

求める学生像

- ・ 専門分野における学士相当の基礎学力をもち、自然現象に通底する普遍性をとらえる理学的な思考法、未知の現象の核心に迫る方法論、論理的で明晰な分析力などを習得することに意欲的な人。
- ・ 新しい課題に対して、既成の概念にとらわれない新鮮な着想力で取り組み、未踏の道を切り拓いていける人。
- ・ 大学院で獲得した高度な知識と研究能力を礎として、将来的に社会の諸分野で活躍し、人類の持続的発展に貢献できる人。

入学選抜の基本方針

- ・ 専門分野における学士相当の基礎学力、論理的な思考力・解析力を有すること。
- ・ 未知の課題を主体的に解決する資質を有すること。
- ・ 研究成果を発信するための基本的な語学力とコミュニケーション能力を有すること。

1. 出 願 資 格

- (1) 日本の大学を卒業した者及び平成30（2018）年3月31日までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30（2018）年3月31日までに修了見込みの者（注2）
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30（2018）年3月31日までに授与される見込みの者（注2）
- (4) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び平成30（2018）年3月31日までに修了見込みの者（注3）
- (5) 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者及び平成30（2018）年3月31日までに授与される見込みの者

(6) 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者で、入学時において22歳に達しているもの(注1)(注4)

(注1) 上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者(修了者)等を示す。

- ・文部科学大臣の指定する外国学校日本校
- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

(注4) ① 上記(6)に該当する者とは、上記(1)～(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者を示す。

② 上記(6)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、平成29(2017)年5月22日(月)から5月26日(金)に本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のエ)に申し出て、その指示に従うこと。

③ 入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

2. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、出身学校の学業成績により行う。

出願者は志望する専攻が指示する全ての試験科目を受けなければならない。

3. 専攻別募集人員

専 攻	募 集 人 員	専 攻	募 集 人 員
物 理 学	130 名	化 学	72 名
天 文 学	23 名	生 物 科 学	84 名
地 球 惑 星 科 学	99 名		

(1) 試験の成績によっては、合格者数が募集人員を上回る場合または下回る場合がある。

(2) 化学専攻においては、平成30(2018)年4月入学のほかに、平成29(2017)年9月入学を認める。募集人員は若干名である。なお、平成29(2017)年9月入学を希望する者は、1. 出願資格の(1)から(6)までの「平成30(2018)年3月31日」を「平成29(2017)年9月21日」と読み替えること。ただし、平成29(2017)年9月22日から9月30日までの間に1. 出願資格の(1)から(6)のいずれかを満たす者は、出願を認める場合があるので、該当者は事前に本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)エ)に問い合わせること。

4. 専攻別試験科目及び試験期日

試験は、以下の日程により行われる。試験の場所、その他詳細については、平成29（2017）年7月31日（月）に受験票とともに郵送する受験者心得で通知する。

なお、出願希望者は、各専攻の内容を詳述した「説明資料」を参照すること。

専攻名	試験期日	試験科目・内容
物理学	8月21日（月）	<p>○専門科目</p> <p>数学 物理学研究に必要となる基礎的な数学の問題2問を出題する。</p> <p>物理学 基本的な物理の問題6問を出題する。 第1問～第3問はいずれも必修問題で、量子力学（第1問）、統計力学（第2問）、古典力学および電磁気学（第3問）、を主な範囲とする。 第4問～第6問は実験に関連した選択問題で、その中から1問を選んで解答させる。</p> <p>※過去の問題は下記を参照</p> <p>http://www.phys.s.u-tokyo.ac.jp/g_info/147/</p>
	8月22日（火）	<p>○外国語 英語</p> <p>TOEFL-ITP®テストを行う。 TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。</p>
	8月31日（木） ～ 9月1日（金）	<p>○口述試験</p> <p>あらかじめ提出した第一志望および第二志望にしたがって、サブコースごとに分かれた口述試験を行う。</p>
		<p>筆記試験の結果により、口述試験対象者を決定し、8月28日（月）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。）</p>

<p>天 文 学</p>	<p>8月22日（火）</p> <p>8月31日（木）</p>	<p>○外国語 英語 TOEFL-ITP®テストを行う。 TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時期に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。</p> <p>○専門科目 天文学を研究するために必要な天文学・物理学・数学の基礎的事項について6題を出題し、数学と物理学をそれぞれ少なくとも1題を含む4題を選択解答させる。</p> <p>※過去の問題は下記を参照 http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp/chem/exam/</p> <p>○口述試験 天文学研究に必要な思考能力をみるための口述試験を行う。</p> <hr/> <p>専門科目と外国語の試験成績により、口述試験対象者を決定し、8月28日（月）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。）</p>
<p>地球惑星科学</p>	<p>8月22日（火）</p> <p>8月31日（木） ～ 9月1日（金）</p>	<p>○外国語 英語 TOEFL-ITP®テストを行う。 TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。</p> <p>○専門科目 数学2題、物理学3題、化学2題、生物学2題、地球科学（鉱物・岩石・構造地質、表層環境・テクトニクス）2題の計11題から計4題を選択。</p> <p>※過去の問題は下記を参照 http://www.eps.s.u-tokyo.ac.jp/admission/exam.html</p> <p>○小論文 大学院入学後どのような分野に進みどのような研究を行いたいと希望しているか、に関する小論文（800字程度）を課す。</p> <p>○口述試験 上記小論文の内容に関連した口述試験を行う。</p> <hr/> <p>専門科目と外国語の試験成績により、口述試験対象者を決定し、8月29日（火）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。）</p>

化 学	8月22日(火)	<p>○外国語 英語</p> <p>TOEFL-ITP®テストを行う。</p> <p>ただし、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT のスコア提出で代替可（以下の TOEFL スコア代替に関する注意事項を参照のこと）</p> <p>○専門科目</p> <p>専門的研究を行うにあたり、必要な科学全般の基礎知識ならびに思考能力について筆記試験を行う。化学6題、数理科学1題、地球科学1題、生物化学1題の9題のうち5題を選択。</p> <p>また、大学院入学後どのような分野に進みどのような研究を行いたいと希望しているかについて400字程度の作文を課す。</p> <p>※過去の問題は下記を参照 http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/chem_graduate/kakomon.html</p>
	8月30日(水)	<p>○口述試験</p> <p>専門的研究を始めるにあたり、志望の妥当性、適性などを口述によって試問する。</p> <hr/> <p>(TOEFL スコア代替に関する注意事項)</p> <p>TOEFL-ITP®テストの代替を希望する者は、出願時に TOEFL-iBT または TOEFL-PBT (2015年9月1日以降に受験したもの) のスコア(1)及び(2)を提出すること。</p> <p>(1)Examinee's Score Record のコピー</p> <p>(2)Official Score Report (TOEFL 受験の際、TOEFL コード番号(8960)を記入すると、ETS から東京大学大学院理学系研究科化学専攻に直接郵送される。)</p> <p>TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。</p>

生 物 科 学	8月22日(火)	<p>○外 国 語 英 語 TOEFL-ITP®テストを行う。 TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。</p> <p>○専 門 科 目 ・分子生物学・細胞生物学・生化学・遺伝学の問題—計4題 ・生物化学・生物情報科学分野の問題—計3題 ・動物学・植物学・人類学分野の問題—計4題 以上の11題から任意の4題を選択。</p>
	8月29日(火)	<p>○口 述 試 験 専門的研究を始めるにあたり、志望の妥当性や適性などを口述によって試問する。</p> <hr/> <p>筆記試験の結果により口述試験対象者を決定し、8月25日(金)に発表する。(発表場所は受験票送付時に通知する。) 筆記試験と口述試験の結果を総合して最終合格者を決定する。</p>

5. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表は、平成29(2017)年9月12日(火)午後1時頃に理学部1号館西棟正面玄関に掲示するとともに、受験者全員に対し試験の結果を本人あてに郵送する。9月15日(金)までに試験結果通知が到着しない場合は、必ず本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のエ)に連絡し、指示を受けること。

(2) 入学手続書類は、平成30(2018)年3月初めに本人あてに郵送するので、3月5日(月)までに入学手続書類が到着しない場合は、直ちに本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のエ)に連絡し、指示を受けること。合格者は、入学手続要領により、3月中の所定の期間内に必要な入学手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

なお、平成29(2017)年9月入学者については、入学手続書類を試験結果通知とともに郵送するので、所定の期間内に入学手続を行うこと。

(3) 入学時に必要な経費(平成30(2018)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

(注) 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

6. 出 願 手 続

(1) 出 願 方 法

ア. 出願は郵送に限る。

イ. 郵送にあたっては、(2)の「出願書類等」を一括して所定の封筒に入れ、郵便局窓口において「書留郵便」の手続きをすること。

ウ. 受付期間 平成29(2017)年7月3日(月)から7月7日(金)まで。

ただし、7月7日(金)までの消印があるものは受け付ける。

エ. あて先 〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学大学院理学系研究科事務部大学院担当

電話 03-5841-4023

(2) 出 願 書 類 等

ア. 入 学 願 書 本研究科所定の用紙に所要事項を記入したもの。

イ. 成 績 証 明 書 学部(教養課程を含む)の成績を証明するもので原本を提出すること。

ただし、本学理学部を平成30(2018)年3月卒業見込みの者は、不要。

ウ. 写 真 票 ・ 受 験 票 3か月以内撮影のカラー写真(正面上半身脱帽のもの)を、所定欄に貼ること。

エ. 封筒 出願者本人のあて名を記入し、372円分の切手を貼ること。
(受験票送付用)

オ. 封筒 出願者本人のあて名を記入すること。
(試験結果通知用)

カ. あて名シール 出願者本人のあて名を記入すること。
(入学手続書類送付用)

キ. 検定料 30,000円

銀行振込もしくはコンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込に限る。
いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。
(平成29(2017)年6月14日(水)から7月7日(金)の間に払い込むこと。
ただし、外国人出願者のうち出願時において日本政府(文部科学省)奨学金留学生である者は、検定料は不要。なお、本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書を提出すること。)

【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書に必要事項を記入し、「出願者へのお願い」を参照の上、最寄りの金融機関(※ゆうちょ銀行・郵便局不可)の窓口から、振り込むこと(※ATM、インターネット等は利用しないこと)。振り込みの際、振込金受取書(B票)及び払込金受付証明書(C票)を受け取り、払込金受付証明書(C票)を検定料払込金受付証明書の所定欄に貼り付けること。

振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管すること。

※ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネット等での振り込みでは、「払込金受付証明書(C票)」が発行されないので利用しないこと。

【コンビニエンスストアでの払込の場合】

コンビニエンスストアは、「セブン-イレブン」、「サークルK」、「サンクス」、「ローソン」、「ファミリーマート」、「ミニストップ」に限る。

実際の払込に関する操作手順や注意事項については、巻末の「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、検定料払込金受付証明書の所定欄に貼り付けること。

【クレジットカードでの払込の場合】

クレジットカードは、「ビザカード(VISA)」、「マスターカード(Master)」、「JCBカード」、「アメリカン・エクスプレスカード(American Express)」が利用可能。

実際の払込に関する操作手順や注意事項については、巻末の「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、印刷した「受付完了画面」を出願書類に同封すること。

7. 注 意 事 項

(1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない*。また、本一般選抜以外の選抜方法で出願した者は、同一年度の同一時期への入学を目的として、本一般選抜へ出願することができないので注意すること。

※化学専攻に出願する者は、平成29(2017)年9月入学と平成30(2018)年4月入学のうち、いずれか一つを選ばなければならない。さらに、平成29(2017)年9月入学を希望する場合には、本研究科のどの専攻にも平成30(2018)年4月入学を目的として出願することができないので注意すること。

(2) 提出期日までに必要書類が完備しない願書は受理しない。

(3) 出願手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、また、検定料の払い戻しもできない。

(4) 受験票及び受験者心得は、平成29(2017)年7月31日(月)に郵送する。8月4日(金)までに到着しない場合は、必ず本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のエ)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

(5) 官公庁・企業・団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、入学手続の際に、在学期間中学業に専念させる旨の「所属長の承諾書(様式任意)」を提出すること。

(6) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は、出願時に本研究科事務部大学院担当(6. 出願手続の(1)のエ)に申し出ること。

(7) 外国人は、入学手続時まで、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」の規定により、大学入学に支障のない在留資格を有することを要する。

(8) 事情により、出願手続、試験期日等について、変更することがある。変更があった場合は、あらためて通知する。

(9) 入学手続後は、どのような事情があっても入学料の払い戻しはできない。

(10) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

(11) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

(12) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

平成29(2017)年5月

大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

専攻	サブコース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A0 原子核理論	教授 福 嶋 健 二	原子核理論	理学系研究科 物理学専攻
		准教授(委) 森 松 治	ハドロン物理学理論	高エネルギー加速器 研究機構
		客員准教授 Haozhao LIANG	原子核理論	理化学研究所
	A1 素粒子理論	教授 諸 井 健 夫	素粒子論・宇宙論	理学系研究科 物理学専攻
		准教授 松 尾 泰	素粒子論・弦理論・数理物理学	〃
		准教授 濱 口 幸 一	素粒子現象論・初期宇宙論	〃
		准教授 伊 部 昌 宏	素粒子理論	宇宙線研究所
		特任教授 村 山 齊	素粒子論・初期宇宙論	カブリ数物連携宇宙 研究機構
		教授 堀 健太郎	素粒子論・弦理論	〃
		教授 立 川 裕 二	場の量子論・弦理論	〃
		准教授 渡 利 泰 山	素粒子論・弦理論	〃
		准教授(委) 筒 井 泉	素粒子論・場の量子論・量子力学基礎論	高エネルギー加速器 研究機構
	A2 素粒子実験・原子核実験・加速器	教授 相 原 博 昭	素粒子物理学実験	理学系研究科 物理学専攻
		教授 櫻 井 博 儀	原子核物理学実験	〃
		教授 浅 井 祥 仁	素粒子物理学実験	〃
		准教授 横 山 将 志	素粒子物理学実験	〃
		講 師 Kathrin WIMMER	Experimental nuclear physics	〃
		教授 下 浦 享	原子核物理学実験	理学系研究科附属 原子核科学研究センター
教授 酒 見 泰 寛		原子核物理	〃	
准教授 矢 向 謙太郎		原子核物理学実験	〃	
准教授 今 井 伸 明		実験核物理	〃	
講 師 山 口 英 斉		原子核物理学実験・宇宙核物理学	〃	
教授 森 俊 則		素粒子物理学実験	素粒子物理国際研究センター	
教授 石 野 雅 也		素粒子物理学実験	〃	
特任教授 山 下 了	素粒子物理学実験	〃		
准教授 大 谷 航	素粒子物理学実験	〃		

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A2 素粒子実験・原子核実験・加速器	准教授 田 中 純 一	素粒子物理学実験	素粒子物理国際研究センター
		教授(委) 宮 武 宇 也	原子核物理学実験・天体核物理学	高エネルギー加速器 研究機構
		教授(委) 齊 藤 直 人	原子核・素粒子物理学実験	〃
		教授(委) 後 田 裕	素粒子物理学実験	〃
		教授(委) 小 関 忠	加速器	〃
		准教授(委) 小沢恭一郎	高エネルギー原子核物理学実験	〃
	A3 物性理論	教授 上 田 正 仁	冷却原子気体理論・情報熱力学・量子測定	理学系研究科 物理学専攻
		教授 常 行 真 司	物性物理学理論	〃
		教授 小 形 正 男	物性物理学理論・統計力学	〃
		教授 村 尾 美 緒	量子情報理論・量子力学基礎論	〃
		准教授 藤 堂 眞 治	計算物理	〃
		准教授 桂 法 称	物性物理学理論・統計力学	〃
		准教授 羽田野 直 道	物性基礎論・量子基礎論	生産技術研究所
		教授 押 川 正 毅	物性物理学理論・統計力学	物性研究所
		教授 常 次 宏 一	強相関電子系	〃
		教授 川 島 直 輝	計算物理学	〃
		准教授 杉 野 修	計算物質科学・第一原理計算	〃
		准教授 加 藤 岳 生	物性物理学理論	〃
	准教授(兼) 加 藤 雄 介	物性物理学理論	総合文化研究科	
	A4 物性実験	教授 福 山 寛	低温物理学	理学系研究科 物理学専攻
		教授 長谷川 修 司	表面物性・ナノスケール系物性	〃
		教授 高 木 英 典	物性物理	〃
		准教授 岡 本 徹	低次元半導体物性・低温物性	〃
		准教授 林 将 光	物性実験	〃
		講師 北 川 健太郎	物性物理学	〃
		教授 島 野 亮	光物性物理・レーザー分光	低温センター
		准教授 村 川 智	低温物理学・量子液体・固体	〃

専攻	サブコース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A4 物性実験	教 授 瀧 川 仁	強相関電子物性・磁性	物性研究所
		教 授 榑 原 俊 郎	磁性・超伝導	〃
		教 授 勝 本 信 吾	低温・半導体・量子輸送	〃
		教 授 金 道 浩 一	強磁場物理学	〃
		教 授 小 森 文 夫	表面物性・ナノスケール系物性	〃
		教 授 上 床 美 也	高压物性	〃
		教 授 山 室 修	化学物理・ソフトマター	〃
		准教授 松 田 巖	光物性物理・表面物性	〃
		准教授 徳 永 将 史	強磁場物理学	〃
		准教授 和 達 大 樹	強相関電子系・放射光科学	〃
		准教授 近 藤 猛	角度分解光電子分光・電子物性	〃
	A5 一般物理学理論	教 授 須 藤 靖	宇宙物理学・太陽系外惑星	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 吉 田 直 紀	宇宙物理学	〃
		教 授 横 山 順 一	宇宙論・重力波物理学	理学系研究科附属ビッグ バン宇宙国際研究センター
		准教授 Kipp CANNON	Gravitational Wave Astrophysics	〃
		教 授 川 崎 雅 裕	宇宙論・素粒子の宇宙物理学	宇宙線研究所
		教 授 高 田 昌 広	宇宙物理学・宇宙論	カブリ数物連携宇宙 研究機構
		教 授 半 場 藤 弘	流体物理学	生産技術研究所
	A6 一般物理学実験	教 授 湯 本 潤 司	量子光学・レーザー物理・光物性	理学系研究科 物理学専攻
		教 授 酒 井 広 文	レーザーを用いた原子分子物理学実験	〃
		講 師 井 手 口 拓 郎	光科学	〃
		教 授 秋 山 英 文	光物性・半導体・レーザー・生物発光	物性研究所
		准教授 板 谷 治 郎	原子分子光物理学	〃
		教 授 (兼) 高 瀬 雄 一	プラズマ物理学・核融合科学	新領域創成科学研究科
		准教授 (兼) 江 尻 晶	プラズマ物理学・核融合科学	〃
		准教授 (兼) 鳥 井 寿 夫	レーザー冷却・量子光学	総合文化研究科

専攻	サブコース	教員名	専攻分野	所属部局
物理学	A7 生物物理	教授 樋口 秀男	運動と神経系の生物物理学	理学系研究科 物理学専攻
		教授 岡田 康志	生物物理学	〃
		教授 古澤 力	生物物理学 (理論/実験)	〃
		准教授 野口 博司	ソフトマター理論	物性研究所
		教授 (兼) 豊島 近	構造生物学	分子細胞生物学研究所
		准教授 北尾 彰朗	生体超分子動力学	〃
		教授 (兼) 能瀬 聡直	神経回路の形成と機能	新領域創成科学研究科
		教授 (兼) 岡田 真人	理論脳科学・物性基礎論	新領域創成科学研究科
		教授 (兼) 陶山 明	生体分子システム・ゲノム科学	総合文化研究科
		教授 (兼) 酒井 邦嘉	脳機能イメージング・言語脳科学	〃
		准教授 (兼) 新井 宗仁	蛋白質物理学・生物物理学	〃
	A8 宇宙物理実験・宇宙素粒子実験	教授 山本 智	星間物理学・星間化学	理学系研究科 物理学専攻
		准教授 安東 正樹	重力波宇宙物理学	〃
		准教授 馬場 彩	宇宙物理学実験	〃
		准教授 日下 暁人	宇宙物理学実験・観測的宇宙論	〃
		講師 中澤 知洋	高エネルギー宇宙物理学	〃
		教授 梶田 隆章	重力波物理学・ニュートリノ物理学	宇宙線研究所
		教授 中畑 雅行	ニュートリノ物理学	〃
		教授 手嶋 政廣	高エネルギーガンマ線天文学	〃
		教授 大橋 正健	重力波宇宙物理学	〃
教授 塩澤 真人	素粒子物理学	〃		

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A8 宇宙 物理 実験・ 宇宙 素粒 子実 験	教授 瀧 田 正 人	高エネルギー宇宙線天文学	宇宙線研究所
		教授 佐 川 宏 行	宇宙線物理学	〃
		准教授 森 山 茂 栄	素粒子・宇宙線物理学	〃
		准教授 吉 越 貴 紀	ガンマ線宇宙物理学	〃
		准教授 早 戸 良 成	ニュートリノ物理学	〃
		准教授 大 内 正 己	宇宙物理学	〃
		准教授 岸 本 康 宏	素粒子・宇宙線物理学実験	〃
		准教授 奥 村 公 宏	ニュートリノ物理学	〃
		准教授 三代木 伸 二	重力波実験物理学	〃
		准教授 内 山 隆	重力波物理学	〃
		准教授 関 谷 洋 之	宇宙素粒子物理学	〃
		教授 (委) 満 田 和 久	高エネルギー宇宙物理学	JAXA/宇宙科学研究所
		教授 (委) 中 川 貴 雄	赤外線宇宙物理学	〃
		教授 (委) 高 橋 忠 幸	高エネルギー宇宙物理学	〃
		准教授 (委) 山 崎 典 子	高エネルギー宇宙物理学	〃

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
天 文 学	A	教授 戸谷友則	宇宙物理学	理学系研究科 天文学専攻
		教授 相川祐理	理論天体物理学・星間化学	〃
		准教授 梅田秀之	理論天体物理学	〃
		准教授 藤井通子	理論天体物理学	〃
		准教授 茂山俊和	理論天体物理学	理学系研究科附属 ビッグバン宇宙国際 研究センター
		教授(兼)鈴木建	理論天体物理学	総合文化研究科
		教授(委)小久保英一郎	理論天体物理学・惑星系天文学	国立天文台
		准教授(委)梶野敏貴	理論宇宙物理学	〃
	B	教授 田村元秀	系外惑星天文学・赤外光学天文学	理学系研究科 天文学専攻
		准教授 田中培生	赤外線天文学	〃
		准教授 嶋作一大	銀河天文学	〃
		教授 土居守	銀河天文学	理学系研究科附属 天文学教育研究センター
		教授 宮田隆志	赤外線天文学	〃
		准教授 小林尚人	天体物理学	〃
		准教授 本原顕太郎	赤外線天文学	〃
准教授(兼)大内正己	銀河天文学	宇宙線研究所		
教授(委)山下卓也	赤外線天文学	国立天文台		

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
天 文	C	教 授 河 野 孝太郎	電 波 天 文 学	理学系研究科附属 天文学教育研究センター
		教 授 (委) 川 邊 良 平	電 波 天 文 学	国立天文台
		教 授 (委) 小 林 秀 行	電 波 天 文 学	〃
		教 授 (委) 大 橋 永 芳	電 波 天 文 学	〃
		教 授 (委) 阪 本 成 一	電 波 天 文 学	〃
		准教授 (委) 関 本 裕太郎	電 波 天 文 学	〃
		教 授 (委) 坪 井 昌 人	電 波 天 文 学	JAXA/ 宇宙科学研究所
学	D	教 授 (委) 郷 田 直 輝	天 体 物 理 学	国立天文台
		准教授 (委) 原 弘 久	太 陽 物 理 学	〃
		教 授 (委) Raffaele Flaminio	重 力 波 天 文 学	〃
		教 授 (委) 海老沢 研	X 線 天 文 学	JAXA/ 宇宙科学研究所
		准教授 (委) 片 坐 宏 一	赤 外 線 天 文 学	〃

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局	
地 球 惑 星 科 学		<大気海洋科学グループ>			
		教授 佐藤 薫	大気力学・中層大気科学	理学系研究科 地球惑星科学専攻	
		教授 日比谷紀之	海洋力学・深海乱流混合・海洋波動理論	〃	
		教授 升本 順夫	気候力学・大気海洋循環物理学	〃	
		准教授 小池 真	大気環境科学	〃	
		准教授 東塚 知己	海洋物理学・気候力学	〃	
		准教授 三浦 裕亮	大気力学・熱帯大気科学・大気モデリング	〃	
		教授 木本 昌秀	大気大循環・気候変動・気候力学・気候系モデリング	大気海洋研究所	
		教授 佐藤 正樹	大気科学・気象力学・地球流体力学・数値モデリング・気候力学	〃	
		教授 高薮 縁	熱帯気象学・気候力学	〃	
		教授 羽角 博康	海洋物理学・気候力学	〃	
		教授 安田 一郎	海洋物理学・海洋生態系力学・水産海洋学・気候海洋学	〃	
		教授 渡部 雅浩	気候モデリング・気候力学・大規模大気循環の力学	〃	
		准教授 伊賀 啓太	地球流体力学・気象力学・海洋力学	〃	
		准教授 岡 顕	海洋物理学・気候モデリング・海洋物質循環モデリング・古海洋モデリング	〃	
		准教授 岡 英太郎	海洋物理学・海洋観測	〃	
		准教授 鈴木健太郎	雲物理学・大気放射・雲とエアロゾルの相互作用・気候モデリング・衛星データ解析	〃	
		教授(委) ※三寺 史夫	海洋物理学・環オホーツク圏の大気－海洋－海水－陸域相互作用	北海道大学	
			<宇宙惑星科学グループ>		
			教授 杉田 精司	惑星探査・惑星科学・アストロバイオロジー	理学系研究科 地球惑星科学専攻
			教授 関 華奈子	惑星電磁気圏物理学・宇宙空間プラズマ物理学	〃
			教授 星野 真弘	宇宙空間物理学・プラズマ物理学	〃
			准教授 天野 孝伸	宇宙空間物理学・プラズマ宇宙物理学	〃
			准教授 笠原 慧	惑星科学(電磁気圏を含む), 特に探査機搭載粒子観測器の開発	〃
			准教授 比屋根 肇	惑星科学・同位体宇宙化学・隕石学	〃
			准教授 三河内 岳	惑星物質科学・鉱物学・隕石学	〃
		准教授 横山 央明	太陽・天体プラズマ物理学	〃	
		教授(兼) 宮本 英昭	惑星地質学	工学系研究科	
		教授(兼) 今村 剛	惑星大気科学・電波科学・惑星探査	新領域 創成科学研究科	
		教授(兼) 吉川 一郎	惑星探査、大気・プラズマのリモートセンシング	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局	
地 球 惑 星 科 学		教授(委) 中村 正人	地球惑星大気プラズマ物理学	宇宙科学研究所 / J A X A	
		教授(委) 藤本 正樹	宇宙プラズマ物理学・惑星系形成論	〃	
		准教授(委) 齋藤 義文	惑星磁気圏物理学・惑星探査用観測装置開発	〃	
		准教授(委) 清水 敏文	太陽・天体プラズマ物理学	〃	
		教授(委) ※竝木 則行	惑星科学・惑星探査	国立天文台	
		<地球惑星システム科学グループ>			
		教授 茅根 創	地球環境システム学(サンゴ礁・沿岸・炭素循環・地球規模変動・古環境変動)	理学系研究科 地球惑星科学専攻	
		教授 田近 英一	地球惑星システム科学・地球史学, 地球と生命の共進化・比較惑星環境進化学・アストロバイオロジー	〃	
		准教授 阿部 豊	惑星システム物理学(惑星進化・惑星大気・惑星気候)	〃	
		准教授 生駒 大洋	理論惑星科学・系外惑星学	〃	
		准教授 関根 康人	地球惑星進化学・アストロバイオロジー・地球惑星大気進化	〃	
		教授(兼) 中井 俊一	地球化学	地震研究所	
		准教授 今西 祐一	測地学	〃	
		准教授 山野 誠	地球熱学・テクトニクス	〃	
		教授 阿部 彩子	気候力学・気候変動論・古気候学・気候モデリング・氷床力学・極域気候	大気海洋研究所	
		教授 佐野 有司	海洋地球化学・宇宙化学・高解像度海洋古環境復元・惑星表層環境変動	〃	
		教授 横山 祐典	気候変動学・海面変動・サンゴ骨格気候学・加速器質量分析・年代測定学・地球化学・南極氷床変動	〃	
		准教授 黒田潤一郎	海洋地質学・古海洋学・地球化学	〃	
		教授 中村 尚	気候力学・大気海洋相互作用・異常気象と気候変動	先端科学技術研究 センター	
		准教授 小坂 優	気候変動・異常気象・気候力学	〃	
		准教授 森 俊哉	火山学・火山化学	理学系研究科附属 地殻化学実験施設	
		教授(兼) 須貝 俊彦	地形学・自然環境論	新領域 創成科学研究科	
		教授(兼) 山室 真澄	陸水学・沿岸海洋学・生物地球化学	〃	
		教授(兼) 磯崎 行雄	テクトニクス・生命史	総合文化研究科	
		准教授(兼) 小河 正基	固体地球惑星物理学	〃	
		准教授(兼) 小宮 剛	地球型惑星の惑星内部・生命環境進化解読・地質学・岩石学	〃	
		教授(兼) 小口 高	地理情報科学・地形学	空間情報科学 研究センター	
	<固体地球科学グループ>				
	教授 井出 哲	地震学・地震発生論	理学系研究科 地球惑星科学専攻		

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
地 球 惑 星 科 学		教 授 小澤 一仁	岩 石 学	理学系研究科 地球惑星科学専攻
		教 授 廣瀬 敬	高圧地球科学・地球惑星深部物質学	〃
		准教授 安藤 亮輔	震源物理学・地震テクトニクス	〃
		准教授 飯塚 毅	地 球 惑 星 化 学	〃
		准教授 河合 研志	グローバル地震学・地球内部構造論	〃
		講 師 田中 秀実	物 質 地 震 学 ・ 構 造 地 質 学	〃
		教 授 新谷 昌人	地 球 計 測 学	地震研究所
		教 授 小原 一成	観 測 地 震 学	〃
		教 授 加藤 尚之	震 源 力 学	〃
		教 授 川勝 均	地 震 学	〃
		教 授 木下 正高	海 洋 底 地 球 物 理 学	〃
		教 授 瀧瀬 一起	強震動地震学・震源過程論・地震波理論	〃
		教 授 小屋口剛博	火 山 学 ・ 複 雑 理 工 学	〃
		教 授 佐竹 健治	地 震 学 (巨 大 地 震 ・ 津 波)	〃
		教 授 佐藤比呂志	構造地質学・アクティブテクトニクス・探査地震学	〃
		教 授 塩原 肇	海 底 地 震 学	〃
		教 授 篠原 雅尚	海 洋 地 震 学	〃
		教 授 武井 康子	地球内部物性とダイナミクス (特に多結晶体の粘弾性、 固液複合系の物性・流体移動ダイナミクス)	〃
		教 授 田中 宏幸	高 エ ネ ル ギ ー 地 球 物 理 学	〃
		教授 (特例) ◆平田 直	観 測 地 震 学	〃
		教 授 古村 孝志	地震波データ解析・地震波の伝播計算・強震動・ 地 震 津 波 災 害 軽 減	〃
		教 授 森田 裕一	火山地震学・観測火山物理学・地震火山計測学	〃
		教 授 吉田 真吾	実 験 地 震 学	〃
		准教授 飯高 隆	観 測 地 震 学	〃
		准教授 市原 美恵	火 山 物 理 学	〃
		准教授 上嶋 誠	地 球 内 部 電 磁 気 学	〃
	准教授 大湊 隆雄	火 山 物 理 学	〃	
	准教授 加藤愛太郎	震 源 物 理 学 ・ 観 測 地 震 学	〃	
	准教授 亀 伸樹	地 震 破 壊 の モ デ リ ン グ	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局	
地 球 惑 星 科 学		准教授 酒井 慎一	観 測 地 震 学	地 震 研 究 所	
		准教授 清水 久芳	地球電磁気学・地球流体力学・電磁流体力学	〃	
		准教授 竹内 希	グ ロ ー バ ル 地 震 学	〃	
		准教授 中谷 正生	震源物理学・実験岩石力学・鉱山地下地震観測学・ 地 震 先 行 現 象	〃	
		准教授 西田 究	地 震 学	〃	
		准教授 波多野恭弘	非平衡統計力学・非線形地殻物理	〃	
		准教授 平賀 岳彦	鉱 物 ・ 岩 石 物 理 化 学	〃	
		准教授 前野 深	火 山 地 質 学 ・ 火 山 岩 石 学	〃	
		准教授 望月 公廣	海 域 地 震 学	〃	
		准教授 安田 敦	実 験 マ グ マ 学	〃	
		教 授 沖野 郷子	海 洋 底 地 球 物 理	大気海洋研究所	
		准教授 朴 進午	海洋地質学・地球物理学（反射法地震探査）	〃	
		准教授(兼) 芦 寿一郎	海 洋 地 質 学	新領域創成科学研究科 (大気海洋研究所)	
		教 授(委) 船守 展正	放射光科学・高圧力科学・地球惑星内部物質科学	物質構造科学研究所 / K E K	
		教 授(委) Simon WALLIS	構 造 岩 石 学 ・ テ ク ト ニ ク ス	名 古 屋 大 学	
		教授(委) ※穴倉 正展	古地震学・変動地形学・第四紀地質学	産業技術総合研究所	
		<地球生命圏科学グループ>			
		教 授 遠藤 一佳	分 子 古 生 物 学 ・ 貝 殻 形 成 論	理学系研究科 地球惑星科学専攻	
		教 授 狩野 彰宏	堆積学，古気候学，生命地球科学	〃	
		教 授 小暮 敏博	鉱物学・物質科学・電子顕微鏡・結晶学	〃	
		教 授 高橋 嘉夫	地球化学・環境化学・放射化学（特に分子環境地球化学）	〃	
		准教授 鈴木 庸平	地球微生物学・物質循環学・ナノ鉱物学	〃	
		講 師 對比地孝亘	古脊椎動物学・脊椎動物比較形態学	〃	
		教 授 川幡 穂高	陸域水循環・炭素循環・鉱物資源・次世代型同位体・熱水鉱 床・古環境・古気候・精密生物飼育	大気海洋研究所	
		教 授(兼) 常行 真司	物性理論・電子状態理論に基づく極限条件下の物性研究	理学系研究科 物 理 学 専 攻	
		教 授(兼) 鍵 裕之	地球深部物質学・高圧科学・地球化学・鉱物科学	理学系研究科附属 地殻化学実験施設	
	教 授(兼) 平田 岳史	地球化学・分析化学・同位体地球化学・年代学	〃		
	准教授 佐々木猛智	古生物学・比較解剖学・分類学	総合研究博物館		
	准教授(委) ※高野淑識	有機地球化学・地球生命科学	海洋研究開発機構		

【地球惑星科学専攻 注意事項】

※は、副指導教員としてのみ指定することが可能です。

◆は、今年度博士課程学生を受け入れない教員です。

専攻	サブコース	教員名	専攻分野	所属部局
化学	物理化学系	教授 合田 圭介	光量子科学・レーザー分光学・ハイパフォニクス	理学系研究科 化学専攻
		教授 大越 慎一	物性化学	〃
		教授 山内 薫	強光子場科学・化学反応動力学	〃
		准教授 加藤 毅	強光子場科学・化学反応動力学	〃
		准教授 歸家 令果	分子科学・強光子場科学	〃
		教授 佃 達哉	触媒化学	〃
		准教授 小安喜一郎	ナノ物質化学	〃
		准教授 鳥居 寛之	放射線科学・素粒子原子物理学	理学系研究科 放射線管理室
		准教授 岡林 潤	物性物理化学	理学系研究科附属 スペクトル化学研究センター
		准教授 岩崎 純史	強光子場科学・レーザー分光学	理学系研究科附属 超高速強光子場科学研究センター
		教授 森 初果	有機固体化学	物性研究所
		教授 吉信 淳	表面物性・表面化学	〃
		教授 山室 修	複雑凝縮系物性化学・中性子散乱	〃
		教授 柴山 充弘	高分子物性	〃
		准教授(兼) 佐々木 岳彦	表面物理化学	新領域創成 科学研究科
	教授(委) 雨宮 健太	表面科学・放射光科学	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所	
	有機化学系	教授 菅 裕明	生物有機化学・合成生物学	理学系研究科 化学専攻
		准教授 狩野 直和	典型元素化学	〃
		准教授 後藤 佑樹	生物有機化学	〃
		教授 小林 修	有機合成化学・グリーンケミストリー	〃
		准教授 山下 恭弘	有機合成化学	〃
准教授 佐竹 真幸		天然物化学	〃	
教授 磯部 寛之		物理有機化学・構造有機化学	〃	

専攻	サブコース	教員名	専攻分野	所属部局
化学	有機化学系	特任准教授 佐藤 宗太	物理有機化学	理学系研究科 化学専攻
		特任准教授 石谷 暖郎	有機合成化学・触媒化学	理学系研究科附属 グリーンサステナブル ケミストリー社会連携講座
		特任教授 中村 栄一	物理有機化学・合成化学・ナノ科学	総括プロジェクト機構 「革新分子技術」総括寄付講座
		准教授 Laurean ILIES	有機合成化学・有機金属化学	〃
		特任准教授 原野 幸治	有機化学・分子集合体科学	〃
		特任講師 Rui SHANG	有機化学・合成化学	〃
		教授(兼) 村田 滋	有機光化学・有機反応化学	総合文化研究科
		教授(兼) 寺尾 潤	有機電子材料化学	〃
	無機分析化学系	教授 小澤 岳昌	分析化学	理学系研究科 化学専攻
		教授 長谷川哲也	固体化学	〃
		准教授 廣瀬 靖	固体化学	〃
		教授 西原 寛	無機化学	〃
		准教授 山野井慶徳	無機化学	〃
		教授 塩谷 光彦	生物無機化学・超分子化学	〃
		准教授 田代 省平	錯体化学・超分子化学	〃
		教授 鍵 裕之	地球化学・高圧科学	理学系研究科附属 地殻化学実験施設
		教授 平田 岳史	宇宙地球学・分析化学・同位体年代学	〃
		准教授 小松 一生	高圧科学・中性子科学	〃
		教授 中井 俊一	地球化学	地震研究所
		准教授 小畑 元	海洋無機化学	大気海洋研究所
		准教授(委) 岡田 達明	太陽系化学・惑星探査科学	JAXA/ 宇宙科学研究所
		教授(兼) 平岡 秀一	有機化学・超分子化学	総合文化研究科

専攻	サブコース	教員名	専攻分野	所属部局
化学	無機分析化学系	教授(兼) 錦織 紳一	無機化学・包接集合体化学	総合文化研究科
		教授(兼) 松尾 基之	環境分析化学・放射化学	〃
		准教授(兼) 佐藤 守俊	分子イメージング・ケミカルバイオロジー	〃
		教授(兼) 斉木幸一朗	表面化学・有機薄膜化学	新領域創成科学研究科

【化学専攻 注意事項】

- ・各教員の受入予定に関しては個別に事前問い合わせをすること。

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教 授 飯 野 雄 一	分 子 行 動 遺 伝 学	理 学 系 研 究 科 生 物 学 科 学 専 攻
		准教授 國 友 博 文	分 子 行 動 遺 伝 学	〃
		教 授 濡 木 理	生 化 学 ・ 構 造 生 物 学	〃
		准教授 石 谷 隆 一 郎	生 化 学 ・ 構 造 生 物 学	〃
		教 授 塩 見 美 喜 子	分 子 生 物 学 ・ R N A 生 物 学	〃
		教 授 黒 田 真 也	シ ス テ ム 生 物 学	〃
		准教授 程 久 美 子	ゲ ノ ム 情 報 生 物 学	〃
		准教授 岩 崎 涉	バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス	〃
		教 授 深 田 吉 孝	神 経 機 能 生 化 学	〃
		講 師 小 島 大 輔	神 経 機 能 生 化 学	〃
		教 授 上 村 想 太 郎	一 分 子 遺 伝 学	〃
		教 授 榎 本 和 生	神 経 細 胞 生 物 学 ・ 分 子 遺 伝 学	〃
		教 授 角 谷 徹 仁	植 物 遺 伝 学 ・ エ ピ ゲ ノ ミ ク ス	〃
		准教授 阿 部 光 知	植 物 分 子 遺 伝 学	〃
		教 授 石 田 貴 文	人 類 生 物 学	〃
		教 授 平 野 博 之 ※	植 物 進 化 遺 伝 学	〃
		教 授 久 保 健 雄	分 子 生 物 学 ・ 細 胞 生 理 化 学	〃
		教 授 武 田 洋 幸	発 生 遺 伝 学	〃
		准教授 入 江 直 樹	発 生 遺 伝 学	〃
		教 授 塚 谷 裕 一	植 物 発 生 遺 伝 学	〃
		准教授 近 藤 修	形 態 人 類 学	〃
		准教授 伊 藤 恭 子	植 物 分 子 生 物 学	〃
		教 授 岡 良 隆	神 経 生 物 学 ・ 生 体 情 報 学	〃
		准教授 神 田 真 司	神 経 内 分 泌 学 ・ 生 体 情 報 学	〃
	教 授 寺 島 一 郎	植 物 生 態 学 ・ 植 物 生 理 解 剖 学	〃	
	准教授 矢 守 航	植 物 生 理 生 態 学	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		准教授 野 崎 久 義	藻 類 系 統 進 化 学	理 学 系 研 究 科 生 物 科 学 専 攻
		准教授 上 島 励	動 物 系 統 分 類 学 ・ 分 子 進 化 学	〃
		講 師 井 原 泰 雄	進 化 人 類 学 ・ 集 団 生 物 学	〃
		准教授 大 橋 順	ヒ ト ゲ ノ ム 多 様 性	〃
		准教授 杉 山 宗 隆	植 物 生 理 学	理 学 系 研 究 科 附 属 植 物 園
		准教授 舘 野 正 樹	植 物 生 態 学	〃
		教 授 三 浦 徹	生 態 発 生 学 ・ 進 化 発 生 学	理 学 系 研 究 科 附 属 臨 海 実 験 所
		准教授 吉 田 学	細 胞 生 物 学 ・ 発 生 生 物 学	〃
		准教授 眞 田 佳 門	発 生 神 經 科 学	理 学 系 研 究 科 附 属 遺 伝 子 実 験 施 設
		准教授 狩 野 泰 則	貝 類 学 ・ 進 化 生 物 学	大 気 海 洋 研 究 所
		教 授 兵 藤 晋	魚 類 生 理 学 ・ 比 較 内 分 泌 学	〃
		教 授 井 上 広 滋	分 子 海 洋 生 物 学	〃
		准教授 新 里 宙 也	分 子 海 洋 生 物 学	〃
		教 授 永 田 俊	生 物 地 球 化 学 ・ 微 生 物 生 態 学	〃
		教 授 諏 訪 元 ※	形 態 人 類 学	総 合 研 究 博 物 館
		教 授 遠 藤 秀 紀	遺 体 科 学	〃
		教 授 山 梨 裕 司	分 子 生 物 学 ・ シ グ ナ ル 伝 達 機 構	医 科 学 研 究 所
		教授(兼) 三 宅 健 介	感 染 ・ 免 疫 部 門	〃
		教 授 武 川 睦 寛	分 子 細 胞 生 物 学 ・ シ グ ナ ル 伝 達	〃
		教 授 中 西 真	分 子 腫 瘍 学 ・ 細 胞 周 期	〃
		教 授 多羽田 哲 也	神 經 生 物 学	分 子 細 胞 研 究 所 生 物 学 研 究 所
		教 授 豊 島 近 ※	構 造 生 物 学 ・ 生 物 物 理 学	〃
		教 授 渡 邊 嘉 典	分 子 細 胞 生 物 学	〃
		教 授 小 林 武 彦	ゲ ノ ム 再 生 学 ・ 分 子 老 化 学	〃
	准教授 谷内江 望	合 成 生 物 学	先 端 科 学 技 術 研 究 セ ン タ ー	
	教授(委) 樋 口 正 信	植 物 系 統 分 類 学	国 立 科 学 博 物 館	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教授(委) 藤 田 敏 彦	動物系統分類学・海洋無脊椎動物学	国立科学博物館
		准教授(委) 海 部 陽 介	形 態 人 類 学	〃
		准教授(委) 細 矢 剛	菌 類 系 統 分 類 学	〃
		教授(委) 相 賀 裕美子	哺 乳 類 発 生 遺 伝 学	国立遺伝学研究所
		教授(委) 斎 藤 成 也	ゲノム進化学・人類進化学	〃
		教授(客員) 白 須 賢	植 物 免 疫 学	理化学研究所
		教授(客員) 杉 本 慶 子	植 物 細 胞 機 能 学	〃
		教授(客員) 黒 崎 久 仁 彦	法 医 人 類 学	東 邦 大 学 医 学 部
		教授(委) 深 津 武 馬	共 生 進 化 学	産 業 技 術 総 合 研 究 所
		教授(委) 岩 本 和 也	分 子 精 神 医 学	熊 本 大 学
		教授(兼) 饗 場 篤	分子遺伝学・分子神経生物学	医学系研究科
		教授(兼) 樋 口 秀 男	生 化 学 ・ 生 物 物 理 学	理 学 系 研 究 科 物 理 学 専 攻
		教 授 小 澤 岳 昌	分 析 化 学	理 学 系 研 究 科 化 学 専 攻
		教 授 遠 藤 一 佳	分 子 古 生 物 学	理 学 系 研 究 科 地 球 惑 星 科 学 専 攻
		教授(兼) 太 田 邦 史	分子細胞生物学・構成生物学	総合文化研究科
		准教授(兼) 大 杉 美 穂	分子生物学・発生細胞生物学	〃
		准教授(兼) 坪 井 貴 司	分子細胞生理学・神経科学	〃
		准教授(兼) 若 杉 桂 輔	分 子 生 命 科 学	〃
		教授(兼) 道 上 達 男	分 子 発 生 生 物 学	〃
		教授(兼) 渡 邊 雄 一 郎	植物環境応答学・ウイルス学	〃
		教授(兼) 和 田 元	植 物 細 胞 機 能 学	〃
		准教授(兼) 佐 藤 健	生 化 学 ・ 細 胞 生 物 学	〃
		教授(兼) 伊 藤 元 己	植 物 進 化 学	〃
		教授(兼) 増 田 建	植物分子生物学・葉緑体色素の分子生理学	〃
	教授(兼) 三 谷 啓 志	放 射 線 生 物 学	新領域創成科学研究科	
	准教授(兼) 尾 田 正 二	生 殖 生 物 学	〃	

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		教授(兼) 大 矢 禎 一	生 命 応 答 シ ス テ ム	新領域創成科学研究科
		教授(兼) 藤 原 晴 彦	昆 虫 分 子 生 物 学	〃
		准教授(兼) 小 嶋 徹 也	昆 虫 分 子 進 化 発 生 学	〃
		教授(兼) 小 島 茂 明	分 子 海 洋 生 態 学 ・ 分 子 系 統 学	〃

【生物科学専攻 注意事項】

※は今年度博士課程の学生を受け入れない教員

提出書類確認一覧表

- (注) 1. 本文中の6. 出願手続の(2) 出願書類等を参照すること。(出願資格に注意)
2. 卒業した大学が複数ある場合は、すべての大学の成績証明書を提出すること。
また、編入学をした場合は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。
3. 外国人出願者のうち、日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料の納付は不要。
4. 化学専攻入学出願者のうち代替を希望する者。(本文中の4. 専攻別試験科目及び試験期日の化学を参照すること)
5. 志望する専攻から指示された書類がある場合は提出すること。

出願資格	ア 入学願書 ウ 写真票・受験票 (写真2葉貼付)	イ 成績証明書	エ 封筒(受験 票送付用) (372円分の 切手貼付)	オ 封筒(試験 結果通知用) カあて名 シール	キ 検定料払込金受 付証明書(収納証 明書等を所定欄に 貼付)または印刷 した受付完了画面	TOEFLの成績 Examinee's Score Record のコピー	その他
出願資格(1) のうち東京大学 理学部卒業見 込の者	○		○	○	○ <small>((注) 3. 参照)</small>	○ <small>((注) 4. 参照)</small>	○ <small>((注) 5. 参照)</small>
出願資格(1) のうち東京大学 理学部既卒者、 東京大学他学部 出身者及び 他大学出身者	○	○ <small>((注) 2. 参照)</small>	○	○	○ <small>((注) 3. 参照)</small>	○ <small>((注) 4. 参照)</small>	○ <small>((注) 5. 参照)</small>
出願資格 上記以外に該当 する者	○	○ <small>((注) 2. 参照)</small>	○	○	○ <small>((注) 3. 参照)</small>	○ <small>((注) 4. 参照)</small>	○ <small>((注) 5. 参照)</small>

※封筒、あて名シールの「殿」は消さないこと。